

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぶれも・もばら（放デイ）		
○保護者評価実施期間	令和 6年12月 1日		～ 令和 6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 4日		～ 令和7年 1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育やグループ活動を保護者同席の元、実施しています。	ニーズに合わせた療育の場面を保護者が見ることで、家庭の実践に生かせるように心掛けています。グループ活動ではSSTを取り入れ、友達の発言を聞いたり、話したりする活動を通して他者理解を深められる様にしています。	保護者にフィードバックできる内容を増やすことができるように研修の充実を図ります。
2	子どもの発達に応じた個別活動を実施しています。	子どものニーズに合わせた個別療育を中心に遊びや機能訓練に取り組んでいます。活動を充実させるために週1回以上の研修を実施しています。	ZOOMの研修を増やし、専門性を高めるようにします。
3	放課後等デイサービス計画にある「家族支援」として学校に出向き、本人・保護者の困りごとの解決に取り組んでいます。	本人・保護者が必要とする支援内容については、担当職員が解決のために学校へ行くことができる体制をとっています。	困りごとの内容については、事前に分かることは、把握し、学校と連絡を取り、必要ならば保護者も同席できる対応を考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもや地域住民との交流できる企画がないです。	事業所として認められている施設に利用者以外のこどもや地域住民を呼ぶことができないので、他の施設を借りることになります。他の施設では、実施できる内容が今のところ見つかっていません。	他の施設を借りて、交流ができる行事を検討しています。
2	本事業所では、家族に対して行う家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）を研修会として実施していますが、その機会を全員に周知できていませんでした。	周知の方法は、利用者全員にプリントを配布しています。配布時に詳しい説明ができていませんでした。研修会の様子の発信は、紙の「ぶれもだより」だけで内容が詳しく伝わらなかったと考えています。	紙媒体の「ぶれもだより」配布時に意識して詳しい内容を説明することになります。他にSNSを活用して発信できるように検討していきます。
3	外部への発信は、紙の「ぶれもだより」（月1回）とHPだけになります。実施している内容の発信としては少ないと思われます。	今までは、紙とHPだけで十分でした。しかし、昨今のSNSの発達により、利用者ではない方にもSNSでの発信が必要であると考えています。	まずは、紙媒体の「ぶれもだより」をSNSを活用して発信できるように検討していきます。